



# ゲリラ豪雨への洪水浸水対策を！

湖南省公明党議員団 ●うかい やち子 議員

**問** 滋賀県が公表した、洪水浸水想定区域図の、湖南市の区域は、

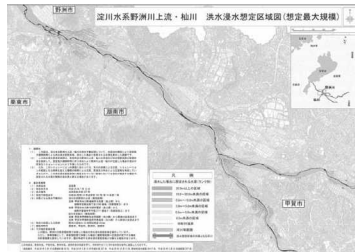
**答** 近年集中豪雨による水害が多発しています。洪水時の被害を最小限にするためには、平時より水害リスクを認識した上で、避難体制などの充実・強化が必要です。平成27年に水防法が改正され、今回浸水想定区域が見直されました。想定する最大雨量を一日633ミリで算定しています。

浸水想定区域内となる湖南市の区域は、野洲川の北側で、水深の深いところは、菩提寺・岩根地先の農地が主になっていますが、南側については、三雲・石部地先の人家が含まれます。

**問** ハザードマップ見直しとスケジュールは、

**答** 今回、洪水浸水想定区域や、家屋倒壊等

氾濫想定区域が指定されたことにより、ハザードマップの見直しが必要になります。本市防災マップは、平成27年3月に作成し、全戸配布していますが、ハザードマップの見直しとともに、平成31年度には湖南市防災マップを改訂し、全戸配布していきます。併せて出前講座を活用し、市民などに周知を図ります。



野洲川浸水想定区域図

**その他**

○農福連携の積極的な取り組みを！

○保育環境の充実を！

○エアコン未設置の保育室に早期配置を！

を質問しました。

# 災害に備えよう！

湖南省公明党議員団 ●くわはらだ 美知子 議員



災害時の備えとして食料品は備蓄しても、災害発生時、避難生活で大きな問題となるのがトイレです。備蓄は。

**答** 小・中学校の防災倉庫には、各学校ごとに簡易トイレ8基、マンホールトイレ2個を備蓄しています。



一方、熊本地震で教訓になったのが車中泊避難で、新たな問題を生じさせました。対策は。

**答** 平成28年熊本地震で問題となった車中泊に関して、今年度、湖南市地域防災計画の修正を行いました。この中で車中泊対策として、①避難所の外で避難生活を送る人たちの居場所や健康状態の把握

②エコノミークラス症

候群の予防法を知らせるチラシの配布  
③物資の配布や医療支援の提供を追加記述しました。

**問** 乳がんの検診率と要精密検査の割合は。

**答** 乳がん検診の推算受診率は徐々に高くなっており、平成28年度は36・5%です。要精密検査率は5・5%で、がんが見つかった人は4人となっています。

**問** 個人に乳腺のタイプ密度を通知することについては。

**答** タイプは「高濃度」「不均一高濃度」「乳腺散在」「脂肪性」に分かれます。日本人女性は「高濃度」タイプが多いが、通知は本市としては、現在の結果通知の方法で継続実施していく方向です。